

1. 目標

研究テーマから以下のような問いを設定できるようになる。

- ☐言葉の定義がはっきりしているか
- ☐データや事例、先行研究をうまく活用できているか
- ☐多面的に検証できているか、条件は明確か
- ☐答えがすぐにみつかるようなものではないか
- ☐調査、実験の見通しがたっているか

2. 本時の目的

研究における問いの重要性とその影響について理解する。

3. 問いとは何か 講義 5 分

課題研究において研究テーマを決定した後、その課題研究全体で何を明らかにしたいのかを示す必要がある。

問いは研究課題を進めるための方向性を示すものであり、研究テーマにおける問題点の明確化や焦点をさらに絞る役割を持っている。

4. 良い問いの条件とは何か 講義 10 分

- ・具体的であること
- ・達成可能であること
- ・研究意義があること

が重要である。

同時に、表面的な回答で終わることがなく、より深く考察していくことができるような問いが望ましい。

そのためにも、たくさんの問いを設定し答えを探す。そこからさらに問いを設定し答えを探すことを繰り返して研究テーマに対する理解を深めていくことが重要である。

8. 班でフィードバックしよう

お互いの問いをシェアして、フィードバックをしよう

(他にも問いが考えられないか、問いに対する答えが見つかった場合、どのようなことが更に考えられるかなど)

5. 問いの種類について

問いの種類	あなたが考える問いの例
言葉の意味や定義を問う 言葉がどのような意味や定義で用いられているか	〇〇の意味は？ 〇〇の定義は？
原因を問う その結果・現象に対する原因は何か	なぜ〇〇は生じているのか
信憑性を問う その現象が実際に生じているのか 本当にそうなのか	〇〇は本当に生じているのか
比較を行う その現象を他の対象と比較することで、 その程度や異なる側面を知る	〇〇はどの程度生じているのか ～～と比べて〇〇はどうなっているのか
先行研究や先行事例を問う これまでどのようなことがおこなわれてきたのか	〇〇に対してこれまでどのような取り組みが行われているのか
影響を問う 今後、どのような影響が生じるのか 今どのような影響が生じているのか	〇〇によってどのようなことが起こるのか
方法や関連性を問う 現象や事柄にどのような関連があるのか どのような方法を用いるのか	〇〇と□□にはどのような関連があるのか どのように〇〇を行うのか

6. 問いを考えてみよう

テーマに対する問いを上にある問いの種類ごとに考えてみよう。(15分)

また、問いの対する答えが簡単に見つかるかインターネットや文献を探してみよう。(15分)

7. 本時の振り返り